

安全性データシート

改定日: 2015年3月31日

発行日: 2010年9月29日

SDS番号: 258-10

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC QRV

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

ARC ポリマー・コンポジット。

衝撃、磨耗、侵食、腐食による破損を修理してください。磨耗した部分を復元してください。穴や亀裂を塞いでください。耐磨耗性表面を生成してください。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY
860 Salem Street
Groveland, MA 01834-1507, USA
Tel: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785
(Mon. - Fri. 8:30 - 5:00 PM EST)
SDSの要求: www.chesterton.com
Eメール (SDSに関する質問): ProductMSDSs@chesterton.com
Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

株式会社 明治屋
神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地
TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731
Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac(追跡)電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. 欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによる分類

皮膚の過敏症 1, H317

2.1.2. 1999/45/EC法令による分類

R43

2.1.3. 追加情報

H(危険)ステートメントおよびR(リスク)フレーズの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

欧州規制1272/2008 [CLP] / GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 警告

危険有害性情報: H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

使用上の注意:	P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P280	保護手袋を着用すること。
	P302/352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
	P333/313	皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

安全・健康障害の詳細は成分ごとに別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。

セクション 3: 組成、成分情報

3.2. 混合物

危険成分 ¹	重量%	CAS番号 / EC番号	分類 (1272/2008/ECによる)	分類 (67/548/EECによる)
反応生成物: ビスフェノール-A- (エピクロルヒドリン)	1-2	25068-38-6 500-033-5	目の炎症 2, H319 皮膚の炎症 2, H315 皮膚の過敏症 1, H317 水生慢性 2, H411	Xi, R36/38 R43 N; R51/53
2,3-エポキシプロピロ-トリルエーテル	0.1-0.5	2210-79-9 218-645-3	変異原性 2, H341 皮膚の炎症 2, H315 皮膚の過敏症 1, H317 水生慢性 2, H411	変異原性 カテゴリ 3; R68 Xi; R38 R43 N; R51/53

その他の成分:

シリカ(石英)	80-90	14808-60-7 238-645-3	分類されていません*	分類されていません
---------	-------	-------------------------	------------	-----------

67/548/EECによると危険あり: Xi: 刺激性; N: 環境に危険
H(危険)ステートメントおよびR(リスク)フレーズの全文: セクション16を参照。
*職場での暴露限界のある物質。

¹分類基準: * 労働安全衛生法
* 毒物および劇物取締法
* GHS, 1272/2008/EC, 67/548/EEC, 99/45/EC, REACH

セクション 4: 応急処置

4.1. 応急処置情報

吸引:	適応せず
皮膚への付着:	汚染した衣服は脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。石鹼水で皮膚を洗浄してください。医師の診断を受けてください。
目に入った場合:	大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
呑み込んだ場合:	無理に吐かせないでください。直ちに医師の診断を受けてください。

4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

発疹やジンマシンのような皮膚の過敏を起こすことがあります。

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置**5.1. 消火剤**

適切な消火剤: 二酸化炭素, 乾燥薬品, 発泡 あるいは 水霧

不適切消火剤: 既知の影響なし

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

なし

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

皮膚に付着しないようにしてください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

条件は特になし。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

適切な廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

直ちに汚染した衣服を脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。

汚染された皮は靴を含め浄化することはできません。処分してください。

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

除去、ドリル、研削、のこ引き、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。

7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)

熱や湿気のない所に保管してください。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置

8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン)	-	-	-	-
2,3-エポキシプロピル-オトリルエーテル	-	-	-	-
シリカ(石英)	(吸引可能)	0.03 (上限)	(吸引可能)	.025

8.2. 曝露制限

8.2.1. 設備対策

粉塵を生成する恐れのある硬化物に最終的に変更する必要がある場合は、粉塵の除去、低減を行ってください。許容限界を超える場合は、充分換気してください。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護: 通常不必要。許容限界を超える場合は、認可された空気供給マスクを使用してください。

手袋: 耐薬品性手袋(例: ネオプレン)

目 / 顔の保護: 安全メガネ

その他: 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	湿った砂	臭気	甘い臭気
色	ベージュ	においの閾値	未定
初留点	適応せず	20°Cでの蒸気圧	未定
融点	適応せず	重量比芳香物含有率 (%)	適応せず
揮発率%(容量比)	< 1	pH	適応せず
引火点	128°C	相対密度	1.5 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	< 1
粘度	適応せず	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	データなし	水溶性	ごくわずか
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	適応せず
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	適応せず

9.2. その他の情報

なし

セクション 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

安定

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

なし

10.5. 配合禁忌薬品

強鹵物酸と塩基、強有機塩基、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、アルデヒド、酸、その他の有毒煙。

セクション 11: 有害性情報**11.1. 毒性影響に関する情報**

通常使用時の主な接触経路: 皮膚や目への付着。
皮膚や目の疾患、皮膚アレルギーのある作業員が晒されると、症状が悪化することがあります。

急性毒性 -

経口: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂 (CAS No. 25068-38-6)	致死量50(LD50), ラット	> 5000 mg/kg
2,3-エポキシプロピルオトリルエーテル	致死量50(LD50), ラット	> 2000 mg/kg

経皮: 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	致死量50(LD50), うさぎ	> 2000 mg/kg
2,3-エポキシプロピルオトリルエーテル	致死量50(LD50), うさぎ	> 2000 mg/kg

吸引: 高温で発生する蒸気とミストは、呼吸器系の炎症、肺の過敏反応を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	致死濃度50(LC50), ラット, 5-8 時間	蒸気飽和レベルでの死亡なし
2,3-エポキシプロピルオトリルエーテル	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	蒸気飽和レベルでの死亡なし
2,3-エポキシプロピルオトリルエーテル	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	6.09 mg/l (エアゾール)

皮膚腐食 / 刺激:

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	皮膚の炎症, うさぎ	かすかな刺激
2,3-エポキシプロピルオトリルエーテル	皮膚の炎症, 人間の体験	激しい刺激

重篤な目の損傷 / 刺激:

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	目の炎症, うさぎ	かすかな刺激

呼吸器または皮膚の感作: 発疹やじんましんのような皮膚の過敏を起こすことがあります。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂	皮膚の過敏, モルモット	過敏性
2,3-エポキシプロピルオ-トリルエーテル	皮膚の過敏, 人間の体験	過敏性

胚細胞突然変異原性: 2,3-エポキシプロピルオ-トリルエーテルはラボ試験のいくつかで突然変異を誘発することが報告されています。反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン): 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

がん原性: 国際がん研究機関(IARC)と国家毒性プログラム(NTP)は吸引シリカを発ガン性物質に分類しています。
本製品内のシリカは独立して存在せず、空气中に浮遊しないので、通常の使用では危険はありません。

生殖毒性: 反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン): 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。2,3-エポキシプロピルオ-トリルエーテルに長時間あるいは繰り返し晒されると、生殖障害(奇形児 / 不妊症)を起こすことがあります。

STOT - 単回暴露: 反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン): 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

STOT - 反復暴露: 反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン): 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
呼吸可能な遊離シリカを繰り返し吸引すると、咳や息切れとともに肺に損傷を与えることがあります。珪肺症(遅発肺疾患で肺線維症の一種、機能不順を徐々に死にいたることもある)が生じることがあります。

吸引性呼吸器有害性: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

その他の情報: なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

水生生物に害はないとされています。

12.2. 持続性・分解性

反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン), 2,3-エポキシプロピルオ-トリルエーテル: なかなか生分解しません。

12.3. 生物蓄積の可能性

エポキシ樹脂: 生体内蓄積の可能性がります。

12.4. 土壌中の移動性

湿った砂。わずかに水に溶けます。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。

12.5. PBT・vPvB評価の結果

入手不可

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意

13.1. 廃棄処理方法

密封した容器を正式に認可された設備で埋立処理してください。
本製品はEC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定されています。
地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意

14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず
 TDG: 適応せず
 US DOT: 適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし
 TDG: 無害、規制なし
 US DOT: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず
 TDG: 適応せず
 US DOT: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず
 TDG: 適応せず
 US DOT: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令

15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
--------	---------------	----------------

その他の国内規制: なし

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH:米国産業衛生専門家会議
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE:急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 CLP:分類、ラベル、包装に関する法規(1272/2008/EC)
 GHS:世界調和システム
 ICAO:国際民間航空機関
 IMDG:国際海上危険物規定
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL:最小作用量
 NOAEL:無毒性量
 NOEL:最大無作用量
 N/A:該当せず
 PBT:難分解性、生物蓄積性および有毒性を有する物質
 PEL:許容暴露限度
 REACH:化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制(1907/2006/EC)
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS:安全性データシート
 STEL:短時間暴露許容濃度
 STOT:特定標的臓器毒性
 TDG:危険物輸送に関する勧告(カナダ)
 TLV:暴露限界
 US DOT:米国運輸省
 vPvB:極めて難分解性で高い生物蓄積性を有する物質
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁(EGHA) - 化学物質に関する情報
 スウェーデン化学物質庁(KEMI)
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)

欧州法規1272/2008による混合物の分類方法:

分類	分類手順
皮膚の過敏症 1, H317	架橋原理「希釈」

関連するH(危険)-ステートメント: H315: 皮膚刺激。
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
 H319: 強い眼刺激。
 H341: 遺伝性疾患のおそれの疑い。
 H411: 長期的影響により水生生物に毒性。

関連するR(リスク)-フレーズ: R36/38: 目と皮膚に刺激を与えます。
 R43: 皮膚に接触すると過敏に反応することがあります。
 R51/53: 水生生物に有毒で、水生環境に長期にわたり悪影響を与える恐れがあります。

危険の絵表示名: 感嘆符

本改訂によるSDSの変更: セクション 2.2, 3, 4.2, 7.1, 8.1, 8.2, 11.1, 16.

その他の情報: なし

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。
使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。